

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語表現	
科目基礎情報							
科目番号		1171		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		商船学科		対象学年	4		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		特に使用しない。随時配布プリントで対応する。					
担当教員		勝田 好洋					
到達目標							
1. 社会人として通用する語彙能力の運用を目指し、実用的な分野を中心に学習する。 2. 国語を学習する最後の機会ともなるので、文化的な知見を深め、発想力、発信力を高めるために、様々な題材に実践的に取り組む。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		課題の目的や意図を理解し、題材について、正確に、丁寧に、仕上げるができる。		対象とする題材に、正しく仕上げる努力を認めることができる。		対象とする題材に、目的や意図を理解せず、正しく仕上げるができない。	
評価項目2		敬語や対外的な文章用語を正しく覚え、運用できる。		敬語や対外的な文章用語について、正誤の判断ができる。		敬語や対外的な文章用語について、正誤の判断ができない。	
評価項目3		簡潔で、筋道の通った説明文を作成することができる。		説明文を作成できる。		説明文を作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (A1)							
教育方法等							
概要		この学年は、本科で国語を学習する最後の機会である。したがって、実用的に運用できることを優先して講義を行う。その意図を理解して授業に臨み、題材に真摯に取り組むことを求める。					
授業の進め方・方法		授業時に、プリント形式で国語常識問題に取り組むことがある。これは、提出物として扱ったり、定期試験の範囲ともなったりするので、きちんと取り組むこと。					
注意点		1. 達成度の評価方法にある、「ポートフォリオ」とは、提出物のことを示している。前期・後期にそれぞれ提出物がある。評価の40%を占める上からも、提出は必須となる。 2. 提出物は、締め切日を設定する。講義中に提出に関する諸注意や説明をする。勝手な判断で提出の目的や意図から外れるものを提出することは、評価に大きく関わるので、授業をきちんと聞くこと。 3. 提出物・試験ともに、正しい字形で表記する。認められない字形、減点対象となる字形、誤りやすい字体等は、その理由とともに、授業で提示するので気を付けること。 4. 自分の筆圧にあった筆記具を用意しておくことが望ましい。水性またはゲルインクのペンを推奨する。 5. 時間割の都合上、2時間連続の場合には、授業計画の2週分をまとめて行う。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 書き方・1		履歴書の	提出物の取り組みに関する説明を聞く。一般的な履歴書の書き方を学び、下書きを提出する。	
		2週	履歴書の書き方・2			履歴書の種類、エントリーシートの種類と書き方を知る。	
		3週	履歴書の書き方・3			下書きを返却し、注意事項を再確認しながら、履歴書の清書の準備をする。	
		4週	敬語の使い方・1			敬語の種類と基本事項を確認する。敬語の練習問題に取り組む。	
		5週	敬語の使い方・2			待遇表現の練習をする。	
		6週	敬語の使い方・3			間違えやすい敬語の使い方を確認する。	
		7週	前期中間試験			問題の指示に従って、正しい解答を作成する。	
		8週	試験の解答解説			試験問題について、正しい解答の導き方を確認する。	
	2ndQ	9週	手紙の書き方・1			手紙の基本構成を学ぶ。手紙特有の用語、その使い方を学び、紙面の使い方を練習する。	
		10週	手紙の書き方・2			手紙に関する基本的な練習問題に取り組む。	
		11週	手紙の書き方・3			後付けの書き方の練習をする。指示に従って、具体的な書き方の練習をする。	
		12週	説明文の書き方・1			扱う題材から、説明文作成の目的を確認する。題材に関する予備知識を学ぶ。	
		13週	説明文の書き方・2			題材を解読し、説明文を作成する。	
		14週	説明文の書き方・3			題材を解読し、説明文を作成する。	
		15週	前期末試験			問題の指示に従って、正しい解答を作成する。	
		16週	試験の解答解説			試験問題について、正しい解答の導き方を確認する。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。		2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。		1	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	50	0	0	10	40	0	100
基礎的能力	50	0	0	10	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0